



地域福祉委員会

7月24日～26日

○埼玉県深谷市「書かない窓口について」

深谷市では、令和2年7月27日から書かない窓口を開始しています。窓口では、記載台を撤去し、受け付け番号機を設置するとともに、これまで最大で4枚記入する必要があった申請書を、1枚の申請書に統一させ、職員が内容を確認することにより、市民は署名するのみで手続きを完了させることができるようになりました。また、各種手続きに対応する職員数は4人から2人となり、証明書発行の手続きは平均で9分、住民異動届の手続きは平均で25分削減でき、人件費は約2,300万円削減されました。

書かない窓口を導入することにより、各種手続きに要する時間を短縮でき、人件費も削減することができることから、今後、本市においても調査研究を進め、書かない窓口の導入を検討していきたいと感じました。



○その他の視察先と視察目的

静岡県静岡市「結婚新生活支援について」

神奈川県川崎市「子どもの権利条例について」

産業建設委員会

7月24日～26日

○茨城県常総市「道の駅常総について」

常総市が進める「アグリサイエンスバレー構想」は、道の駅、商業施設、産業施設、大規模園芸施設、観光農園、都市公園を配置し、「食と農と健康」をテーマに6次産業化を軸としたまちづくりと地域活性化を目指すプロジェクトです。アグリサイエンスバレー事業が地域経済へもたらす波及効果は、企業誘致による雇用創出・税収増加、地域の基幹産業である農業の再生・発展、人口流出の抑制、地域の関係人口の増加、地域産業の新たな創出、農業生産高・所得の増加などさまざまです。

また、道の駅を基盤として、地域情報を継続的に発信し、持続可能なマーケティング環境を整えているなど、本市にとって参考となる点が数多くあったことから、実りある視察であったと感じました。



○その他の視察先と視察目的

埼玉県川越市「インバウンドを含めた観光誘客について」

山梨県甲府市「ふるさと納税の取り組みについて」